

平成27年度 第1回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会  
「発達支援部会」会議録

日 時 平成27年6月15日（月） 午後3時から午後4時30分まで

場 所 鎌ケ谷市総合福祉保健センター6階大会議室

出席者 菅谷幸乃部会員、平沢真哉部会員、土屋知子部会員、野中幹子部会員  
（鎌ケ谷市学校教育課副主幹）、林恵利部会員（鎌ケ谷市健康増進課主任保健師）、佐藤佳子部会員（鎌ケ谷市こども発達センター主幹）

欠席者 福田弘子部会員、松村幸江部会員、須鎌ひろみ部会員、星山伸夫部会員

関係者 櫻井誠（鎌ケ谷市障がい福祉課主査）[障がい福祉課 岩田友理子部会員代理]

事務局

（障がい福祉課） 齊藤障がい福祉課長、藤嶋係長、横山主事  
（もくせい園） 三浦、花田

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・ 式次第
- ・ 平成27年度 発達支援部会 名簿
- ・ 平成27年度 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会組織図 (資料1)
- ・ 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会設置要綱 (資料2)
- ・ 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会専門部会設置要綱 (資料3)
- ・ 鎌ケ谷市の各障がい者手帳所持世代別所持者 (資料4)
- ・ 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 (資料5)
- ・ 鎌ケ谷市基幹型相談支援センター設置に係る検討会 (資料5)
- ・ 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会・専門部会 名簿 (資料5)
- ・ 鎌ケ谷市サポートファイル (資料6)

## 1 挨拶

事務局（斉藤課長）から挨拶があった。

鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会専門部会の構成に関するもののほか、昨年度、発達支援部会において作成した鎌ヶ谷市サポートファイルについて説明があった。

## 2 選任書交付

事務局（斉藤課長）から、発達支援部会出席部会員に選任書を交付した。

欠席の部会員には、次回の発達支援部会の会議で選任書を交付することとした。

事務局から、今回の会議には、7名の部会員が出席しているため、定足数である過半数を満たしていること及び傍聴者は0名であることを報告した。（部会員については、添付資料 発達支援部会名簿を参照）

## 3 部会長・副部会長の選出

事務局（斉藤課長）から、部会長、副部会長は委員の互選によるものとなっているが、お互いに選出がないため事務局から提案させていただくことを部会員に確認、承認を得る。これにより、部会長は菅谷部会員に、副部会長は平沢部会員にお願いしたいことを部会員に確認し、共に部会員の承認を得たため決定とした。以降、菅谷部会長が議長となり会議の進行を行った。

## 4 事務局からの説明、報告事項

### （1）部会の位置付けについて

事務局から、鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会、鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会専門部会、基幹型相談支援センターに関するプロジェクトチームについて説明（添付資料1、2、3を参照）した。また、発達支援部会で作成した鎌ヶ谷市サポートファイル（添付資料あり）、鎌ヶ谷市の各障害者手帳所持世代別所持者（添付資料4を参照）について説明した。

### （2）障害者差別解消法に伴う事務局からのお願い

事務局から、障害者差別解消法が平成28年4月1日から施行されるにあたり、本市では行政機関として不当な差別の取扱いの禁止、合理的配慮について、職員に対し周知、啓発を行っていく予定であり、現在、職員を対象に障がい者差別についてのアンケートを実施している。

今後はアンケート結果をもとに、対応要領やパンフレット等を作成していくことを検討しているため、その際部会に意見を求める可能性があるため協力して欲しい旨を依頼した。

## 5 議題

### (1) 今年度の発達支援部会における検討テーマについて

鎌ヶ谷市こども発達支援センター職員である佐藤部会員から、サポートファイル作成の経緯及び使用の仕方等について次のとおり説明があった。

- ・特別な配慮を必要とする人に対し、適切な理解を得ることと、途切れることなく一貫した支援が受けられることを目的としている。
- ・こども発達センターで作成したサポートファイルの原案に、発達支援部会で情報を追加し、子ども全体の姿が見えるようにした。
- ・保護者が母子手帳感覚で記入、保管をし、役立てて欲しい。

議長から、サポートファイルについては一旦完成とし、今後の普及方法や使い勝手について意見等があればサブテーマとして検討していくと説明があった。その後、今年度の部会において検討したいテーマはあるか、部会員に意見を求めた。

(部会員からの意見)

- ・学校全体で共通した配慮ができるとうい。
- 普通学級に通わせたいという保護者が多いが本人にとって一番良い学びの場なのかは一考する必要がある。
- ・学校決定は最終的には保護者だが、何を経験させたいかで選択肢が広がり、迷うことも多いのではないか。
- ・保護者のなかには発達障がいとうまく対応できていないと思われる方もいるので、家族への支援も重要である。
- ・発達障がいとは何かを明示してはどうか。

等の意見が出され、これらについて検討した。

その結果、「発達障がいに対する理解を深める」ことをテーマとした。

次回の発達支援部会の会議では、発達障がいを理解するための関係資料を発達障がいについて詳しい平沢副部長や事務局からできる範囲で提供してもらうこととした。

### (2) 開催日時について

事務局から、今年度の発達支援部会の会議の開催日程について説明した。

事務局案として今回を含め全5回、午後3時からで設定したものを提示し、部会員による検討の結果、開催日は事務局案のとおり承認されたが、開催時間は全回午後4時30分からとなった。

会場は、総合福祉保健センター4階研修室又は6階大会議室の予定とした。  
議長から、次回は8月10日(月)午後4時30分から開催する旨を伝え終了した。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年7月27日

氏名 林 恵利 \_\_\_\_\_

氏名 野中 幹子 \_\_\_\_\_